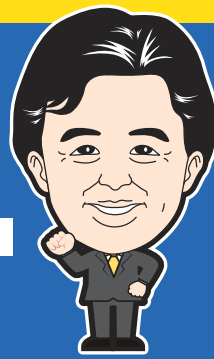


参議院議員

イハ洋一 後援会たより



イハ洋一後援会（沖縄事務所）

〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩2丁目1-8-101
TEL&FAX：098-892-7734

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館519号室
TEL/03-6550-0519 FAX/03-6551-0519

Vol.04

2019年8月8日発行

[伊波洋一オフィシャルサイト]

www.ihayoichi.jp

基地のない
平和な沖縄を

CONTENTS

- p2 ごあいさつ・後援会共同代表あいさつ
- p3 2019参院選報告(平和の一議席バトンタッチ)
- p4 活動記録スナップ
- p6 国会活動報告
- p8 各種委員会質疑一覧・ホームページのご紹介



ごあいさつ 参議院議員 伊波洋一（会派・沖縄の風）

ハイサイ グスヨー チュー ウガナビラ 夏真っ盛りですが、いかがお過ごしでしょうか。当選以来、系数慶子参議院議員と会派「沖縄の風」を結成し、参議院の国会活動も3年になりました。この間のご支援に感謝申し上げます。7月の参議院選挙では、これまで3期14年間、「平和の一議席」を守りぬいてきた系数慶子議員が任期を終えられ、高良鉄美参議院議員にバトンタッチいたしました。皆様の力強いご支持・ご支援に改めて心から感謝申し上げます。



今後は、高良鉄美議員と共に参議院で「沖縄の風」を吹き続け、沖縄県民の声を国政に届けて、沖縄と我が国の平和な発展に向けて取り組んで参ります。皆様の一層のご指導・御鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

この3年間は沖縄にとって激動の3年間でした。16年7月参院選翌日から北部訓練場の東村高江で新たなヘリパッド建設が始まり、18年は辺野古で土砂投入が通告され、沖縄県の埋立承認撤回手続きが進む中で8月8日に翁長雄志知事が急逝されました。8月31日には埋立承認が撤回され、9月30日の県知事選挙では皆様の力強い応援で翁長知事の遺志を継ぐ玉城デニー知事が誕生しました。オール沖縄の継続的な取り組みは、今年2月24日の辺野古県民投票で投票者の72%、43万票を超える辺野古新基地に反対する沖縄県民の圧倒的な民意を内外に示しました。

国会でも辺野古移設断念は立憲野党の共通の政策となっています。沖縄の声は米国議会にも届いています。私は、辺野古新基地建設を断念させるために、決してあきらめることなく取り組み続けてまいります。

辺野古や高江等の基地建設を強行し、都合の悪いことは、公文書まで隠蔽(いんぺい)、改竄(かいざん)するような安倍政権は、一日も早く終わらせましょう。

この1年は、昨年9月30日の沖縄県知事選挙をスタートに、10月・豊見城市と那覇市の市長選挙、今年2月・辺野古県民投票、4月・衆院沖縄3区補選、7月・参議院選挙と、ずっと選挙が続きましたが、皆様には多くのご協力、ご支援をいただき、重ねて感謝申し上げます。

今後は、「沖縄の風」で高良鉄美議員と共に玉城デニー知事を支え、平和で誇りある豊かな沖縄の発展をめざして、沖縄基地問題等の解決が一日も早く実現するように取り組んで参ります。今後とも、皆様のご健勝で平和な沖縄の発展にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「沖縄の風」会派の活動に期待する

伊波洋一後援会共同代表



石川元平



町田宗徳



東門美津子



高里鈴代



下地学

伊波洋一参議院議員ならびに伊波洋一後援会への日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。

2月24日の辺野古県民投票で投票者の72%、43万4,273票という圧倒的な辺野古新基地建設反対の民意が示されたにもかかわらず、政府は沖縄の民意を無視し違法工事を強行し続けています。

このような不当な政府の対応に対し、伊波洋一参議院議員は、外交防衛委員会で沖縄の声を伝え、政府を追及してきました。さらなる追及で辺野古新基地建設を断念させることを期待しています。

7月の参議院選挙で、系数慶子参議院議員から「平和の一議席」のバトンを受け取った高良鉄美参議院議員と共に参議院会派「沖縄の風」の活動を発展させて、沖縄の声を国政へ届け、玉城デニー知事を国政の場から支え、平和で誇りある豊かな沖縄の実現に取り組まれることを期待します。伊波洋一後援会も全力で伊波洋一議員を支えてまいります。

皆様のご健勝を心から祈念申し上げて御挨拶いたします。

今回の第25回参議院議員選挙は、沖縄選挙区で3期14年にわたって「平和の一議席」を守ってきた糸数慶子参議院議員が任期を終え、高良鉄美さんにバトンタッチする参院選となりました。糸数慶子議員は3年前まで無所属議員として活動しておりましたが、私（伊波洋一）が2016年に当選して以来、二人で会派「沖縄の風」を結成して院内外の活動に取り組んできました。国会議事堂内にも会派室が設置され、参議院議員会館内にも会派会議室ができました。

今回のタカラ鉄美候補の選挙応援には糸数慶子事務所と伊波洋一事務所から総計5名のスタッフが加わり、タカラ鉄美選对本部の役員・スタッフの皆様とともに取り組ませていただきました。

糸数慶子議員は選对本部の代表顧問として各種集会で応援挨拶を行うとともに、久米島町や石垣市、宮古島市、与那国町など離島での遊説もタカラ候補とともに行いました。私も、久米島町や石垣市での遊説に参加し、那覇市など沖縄本島中南部地区を中心に候補者カー等で選挙遊説に連日参加しました。

タカラ鉄美候補は琉球大学法科大学院教授退任後の4月以降に活動をスタートしました。5月7日に沖縄選挙区に関する政党会派労組連絡会議の呼びかけで「沖縄選挙区タカラ鉄美出馬表明



2019年7月20日
タカラ鉄美ラストスパート大集会@県立博物館前

会見」を教育福祉会館で行い、「オール沖縄で支援する候補」として立候補することを表明し、5月20日に那覇市泉崎に後援会事務所を開きました。照屋義実選对本部長を先頭に「オール沖縄」関係団体や各地域島ぐるみ会議の協力を得て選挙体制を確立し、初挑戦のタカラ鉄美候補を多くの皆様に支えていただき当選することができました。玉城デニー沖縄県知事、糸数慶子参院議員、照屋寛徳衆院議員、赤嶺政賢衆院議員、屋良朝博衆院議員に力強い応援をいただきました。心から感謝申し上げます。

私は、高良鉄美議員とともに会派「沖縄の風」の活動を通して沖縄の声を国政に伝え、玉城デニー県政を支え「平和で誇りある豊かな沖縄」の発展のために取り組んでまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2019年7月21日 タカラ鉄美当選バンザイ@教育福祉会館大ホール

活動記録スナップ

2019年1月26日 県民投票キックオフ集会



2019年1月18日 自治労退職者会 東京都本部での講演



2019年2月14日 県民投票公示日
宜野湾市長田交差点



2019年2月16日 県民投票
やんばる大集会@名護市



2019年2月19日 国会で沖縄の風が主催し
元山仁士郎氏を迎え、県民投票シンポジウム



2019年2月20日 うりずんの会と
ロブカジワラ氏との意見交換



2019年2月14日 県民投票公示日宜野湾市長田交差点



埋め立て承認撤回の
“執行停止”抗議
野党合同ヒアリング

2019年3月7日 埋め立て承認撤回の
執行停止抗議 野党合同ヒアリング



2019年3月19日 辺野古新基地は断念を!
国会前総がかり行動



2019年3月25日 土砂投入は中止を!
辺野古新基地建設は断念せよ官邸前集会



2019年4月24日 玉城デニー知事訪問



2019年4月25日
屋良朝博衆議院議員あいさつまわり



2019年4月25日 埼玉講演「オール
沖縄に学ぶ野党共闘の在り方」



2019年4月10日 二一国会会訪問



2019年5月19日
5.15平和行進@宜野湾市役所前



2019年5月19日
5.15平和行進@宜野湾市役所前



2019年5月19日
5.15平和行進@宜野湾海浜公園野外劇場



2019年5月19日
憲法講演会@大宜味村塩屋公民館



2019年5月27日 全国農業委員会会長大会決議
について県農業会議より要請



2019年6月1日 高江N1ゲート前訪問



2019年6月4日 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める請願署名提出6.4院内集会



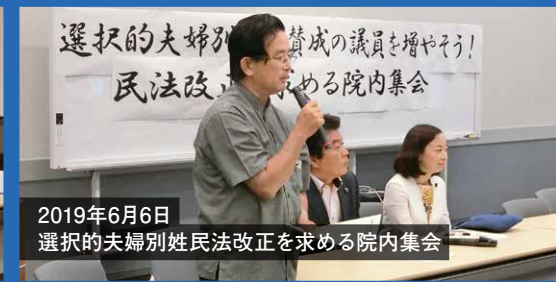
2019年6月4日 議院運営委員会「歳費法案質疑」



2019年6月1日 屋良朝博激励会@名護市



2019年6月4日 第10期沖縄意見広告運動記者会見



2019年6月6日 選択的夫婦別姓民法改正を求める院内集会



2019年6月1日 當山全伸東村長宅激励訪問



2019年6月16日 嘉手納爆音訴訟定期総会



2019年7月12日 必勝タカラ鉄美街頭大演説会@久茂地交差点



2019年7月4日 参院選公示日



2019年7月12日 タカラ鉄美宜野湾市遊説



2019年7月21日 タカラ鉄美当選 カチャーシー@教育福祉会館大ホール



2019年7月22日 辺野古ゲート前で 糸数慶子議員と参院選勝利報告



2019年7月22日 辺野古ゲート前で 糸数慶子議員と必勝のガッツポーズ



2019年7月22日 辺野古ゲート前で糸数慶子議員と参院選勝利報告



2019年7月24日 高良鉄美当選証書付与式



2019年7月26日 糸数慶子議員お疲れ様でした @那覇空港1階到着ロビー

国会活動報告

第198回常会(2019年1月28日～6月26日)の期間中の、各委員会での質疑の内容をまとめてご紹介します。各質疑の詳細は公式ホームページをご参照下さい。

2019年1月24日 法務委員会

改正入管法、技能実習制度に関し、労働法令遵守や人権保障を求める

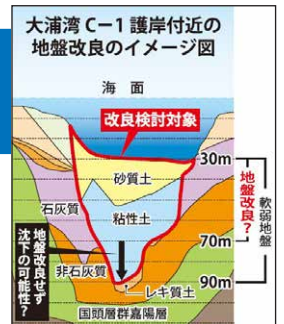
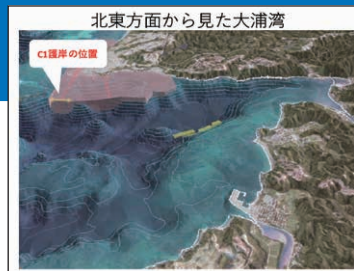
「沖縄の風」会派内の糸数議員との交代で、法務委員会で質疑。改正入管法は、日本社会の将来を大きく変えるにもかかわらず、国会において十分な議論がされないまま、2018年12月に強行採決された。4月の施行を前に何ら中身が詰められていない新制度「特定技能」、低賃金・長時間労働等の労働法違反や人権侵害を理由に失踪が多発し「人身売買」との批判もある技能実習制度の問題について、外国人の人権保障や受け入れ側である市民や自治体への支援を求めた。



2019年3月12日、19日、22日、28日、5月28日、6月13日、18日 外交防衛委員会

大浦湾の軟弱地盤問題 辺野古の埋立工事の停止求める

防衛局は埋立承認申請の際、「沈下は生じない」としていた。2019年1月の「検討結果報告書」では、「埋立から3.3メートル、供用後20年で約40センチの沈下」を認めたが、これも過小評価の疑いが強い。辺野古は、大きく沈下する大浦湾側と沈下しないシュワブ陸上がある。地盤改良は水深70メートルが限界で、岩屋防衛大臣は「70メートルまでの施工で安定性の確保は可能」と繰り返すが、軟弱地盤は74メートル以上に及び、70メートル以深の「非常に固い」とされる土層は本当に実在するのか、C1護岸直下の海底は急斜面であり護岸を安定的に設置できるのか、といった問題を指摘。安倍政権は、県民の民意に従い、辺野古埋立を停止すべきだ。



2019年4月16日、18日、23日 外交防衛委員会

海兵隊が抑止力だとしても沖縄に駐留する必要はない

私が市長時代の宜野湾市の調査や朝日新聞報道(2019年3月31日)などから、在沖海兵隊第31海兵機動展開隊(31MEU)は年間100~160日間、定期的に豪州、タイ、フィリピンなど東南アジアに展開していることを指摘。海兵隊は2004年スマトラ島沖地震以降、軍事同盟の一環として人道支援災害救援活動(HA/DR)に取り組んでいるが、31MEUは2011年3・11東日本大震災の時は展開先のフィリピン海から一週間後の3月18日に秋田沖に来援。2016年4月16日の熊本地震の際は、31MEUのオスプレイは展開先のフィリピンから4月18日に南阿蘇村に到着している。防衛省がくり返すように「米海兵隊は抑止力」だとしても、沖縄に米海兵隊が駐留する必要はない。



2019年4月25日、5月9日 外交防衛委員会

日本政府はグアム・アンダーセン北部地区に米海兵隊オスプレイ基地を建設している



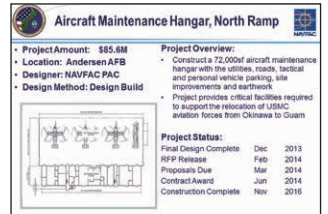
日本政府は、2009年、2012年の協定を根拠に、米海兵隊のグアム移転のため、国民の税金から31億ドル（約3,500億円）も支出。米国のグアム環境アセスでは、2010年のファイナル版で、普天間所属ヘリ部隊のグアム移転が明記され、2015年のアセス補充書にも移転部隊の変更はない。米連邦調達情報システムなどから、グアムのアンダーセン・ノースランプ地区の新たな海兵隊基地には、沖縄から移転するオスプレイなど海兵隊のヘリ部隊のための駐機場や格納庫の整備が進められており、この費用の一部は日本政府が負担していることを指摘した。

2019年5月14日、16日 外交防衛委員会

米連邦議会で国防総省高官が在沖海兵隊航空部隊のグアム移転を証言



2019年4月、ロバート・マクマホン国防次官補（調達担当）は、「国防総省は、沖縄からグアムへの約5,000名の海兵隊の移転について継続的に作業している」として、「アンダーセン空軍基地のノースランプは、MV-22オスプレイ、H-1ヘリ、CH-53ヘリの発着場を備えた米海兵隊航空戦闘部隊の本拠地（ホーム）となる。」と米連邦議会・上院歳出委員会小委員会で証言。日本の防衛省も「アンダーセンノースランプは『オスプレイを収容する海兵隊航空戦闘部隊の本部となる』との記述は承知している」と確認。普天間所属部隊のグアム移転が米国方針であり、辺野古新基地は必要ない。



2019年5月20日 行政監視委員会

ボランティア活動に対する保険加入と事故に対する損害賠償を求める

2017年、Aさんは宜野湾市の国道330号線付近でボランティアの草刈り作業中、高さ2メートルの道路斜面から転落。救急搬送されたが、現在も1級相当の身体障害が残る。南部国道事務所は、Aさんの所属団体から「沖縄総合事務局管内道路美化活動実施要領」に基づく届出を受けていたが、事故については実施者責任とし、保険は適用されておらず、保険料費用負担の仕組みを有する「ボランティア・サポート・プログラム」の案内もしていなかった。事件に関する損害賠償、今後の保険加入を求め、沖縄県にだけ2つの制度がある問題点を指摘した。



2019年4月24日 政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会

「島チャビ」解消、離島・本島北部の光回線整備、過疎法の期限延長を求める

2017年の台風被害では、南大東島、北大東島で船便が欠航し、食料やサトウキビの物流など、暮らしに大きな被害が出た。離島では、海が荒れば日用品の往来が止まり、急な病気やけがの対処もできず、進学や就職で島を離れなければならないことも多い。こうした離島の不利益「島チャビ」を他の国会議員に紹介。離島の情報格差解消、波嘉敷、北大東、南大東、竹富、宮古島などで遅れる光回線のインフラ整備を求めた。また、沖縄本島内の大宜味村や東村、今帰仁村での光回線の整備促進を求めた。同時に過疎法の延長を求め、前向きな答弁を得た。



沖縄の声を国会へ 未来を決めるのは私たち!

伊波洋一参議院議員の この一年の委員会質疑は計26回、 質疑時間合計は7時間10分!

3年目の参議院委員会質疑では、196回(常会)の政治倫理選挙制度特別委員会(2018年7月9日)を皮切りに、197回(臨時会)、198回(常会)で外交防衛委員会、政治倫理選挙制度特別委員会、行政監視委員会、国際経済外交に関する調査会で質疑に立った。

外交防衛委員会では、辺野古新基地建設を強行する政府の姿勢を追及した。政治倫理選挙制度特別委では、公選法改正、参議院定数増など法案審議に際し、沖縄の実情を訴えた。また、糸数慶子議員と交代で法務委員会でも質疑を行い、拙速に進められる入管法改正の問題点を指摘した。

就任から今年までの質疑累計回数は92回となり、質疑の累計時間は23時間52分となった。
(国政報告、国会質問と議事録一覧は下記のサイトをご覧ください。)



伊波洋一公式サイト
<http://ihayoichi.jp>



公式Twitter
<https://twitter.com/ihayoichi?lang=ja>

回次	会議名	日時	質疑時間(分)
196回国会 (常会)	政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会	2018年7月9日	30
	政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会	2018年7月11日	15
197回国会 (臨時会)	外交防衛委員会	2018年11月20日	20
	外交防衛委員会	2018年11月22日	19
	外交防衛委員会	2018年11月27日	20
	外交防衛委員会	2018年11月29日	15
	外交防衛委員会	2018年12月4日	15
	政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会	2018年12月5日	15
	外交防衛委員会	2018年12月6日	19
197回国会 (閉会中)	法務委員会	2019年1月24日	25
198回国会 (常会)	外交防衛委員会	2019年3月12日	20
	外交防衛委員会	2019年3月19日	20
	外交防衛委員会	2019年3月22日	15
	外交防衛委員会	2019年3月28日	12
	外交防衛委員会	2019年4月16日	15
	国際経済外交に関する調査会	2019年4月17日	10
	外交防衛委員会	2019年4月18日	16
	政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会	2019年4月24日	15
	外交防衛委員会	2019年4月25日	16
	外交防衛委員会	2019年5月9日	15
	外交防衛委員会	2019年5月14日	10
	外交防衛委員会	2019年5月16日	10
	行政監視委員会	2019年5月20日	15
	外交防衛委員会	2019年5月28日	15
	外交防衛委員会	2019年6月13日	15
	外交防衛委員会	2019年6月18日	18

日頃より、伊波洋一参議院議員へのご支援とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

国会内外で活動する伊波洋一議員とそれを支える伊波洋一後援会の活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

【郵便振替】口座番号:01740-5-122219 口座名:伊波洋一後援会